

# 【1 内部自己評価】 評価平均

|                  |               |              |           |
|------------------|---------------|--------------|-----------|
| ④「そう思う」          | ③「どちらかというと思う」 | ②「あまりそう思わない」 | ①「そう思わない」 |
| ⑤「よくわからないので回答不能」 |               |              |           |

## (1) 学校経営

| 項目               | 観 点   | 評価平均 |
|------------------|---|------|
| 教育目標             | 校訓「誠実勤勉」「敬愛和親」「積極進取」のもと、新しい時代を主体的に切り拓いていくことができる自立した人間を育成する  | 3.07 |
| 教育目標達成のための具体的な方策 | 1 授業の充実(主体的・対話的で深い学びの実現に向け、体験活動や問題解決的な学習を積極的に取り入れた指導、ICT機器の効果的な活用・評価の工夫などの研修への取組)                   | 3.16 |
|                  | 2 生徒指導の充実(生徒一人一人に寄り添った指導、生徒・保護者及び教職員の信頼関係の構築、挨拶・服装容儀・時間厳守・情報モラルの指導の徹底、望ましい人間関係の構築、生徒理解に基づいた教育相談の充実) | 3.03 |
|                  | 3 キャリア教育の充実(生徒一人一人が社会的・職業的自立ができるよう、キャリア発達を促す進路指導の充実、三年間を見通した進路指導、生徒が自分の生き方を自分で決定できる意識の強化)           | 3.00 |
|                  | 4 特別活動、部活動の充実(学校行事等における生徒の自主的な取組の工夫、部活動やボランティア活動の積極的な参加、他者を認める心や自己肯定感の育み、部活動における短時間でメリハリのある指導)      | 3.13 |

## (2) 教務部

| 項目   | 観 点   | 評価平均 |
|------|---|------|
| 重点目標 | 1 教育課程編成に向けた取組(令和8年度入学生の教育課程の編成、総合学科の特長を生かした教科・科目の精選、科目選択の手引きの作成)                           | 2.97 |
|      | 2 実行力・協働力・探究力を身に付けた生徒を育成するための授業の充実(授業時数の確保、各分掌・年次と連携した年間・月間行事の策定、シラバスの作成、評価方法及び校務支援システムの研究) | 3.26 |
|      | 3 教育活動を充実させるための学校行事の運営、研修の実施、諸表簿の整備(各分掌・年次と協力した芸術教室、体験入学等の行事の実施、研究授業・互見授業の実施、規程集等の諸表簿の整備)   | 3.23 |

## (3) 生徒指導部

| 項目   | 観 点  | 評価平均 |
|------|--|------|
| 重点目標 | 1 生徒の基本的な生活習慣の育成・確立に努め、自立心を育成する(端正な身だしなみ・時間厳守指導、挨拶の励行、生徒心得の周知徹底、集団行動の指導、巡回指導、保護者との協力体制)  | 2.97 |
|      | 2 生徒の自治活動の育成・確立に努める(学校行事づくりの推進、各委員会の活動の推進、部活動の短時間集中と適切な休養、部活動部員数の増大、ボランティア活動推進)  | 3.10 |
|      | 3 生徒の事故・非行の未然防止と早期発見・早期対応に努める(生徒の人格を尊重した指導、問題行動の未然防止、いじめのアンケート実施、特別支援委員会の開催、問題行動生徒に対する指導、年次・HR担任との連携、交通安全指導の徹底、他者を思いやる心の教育、携帯端末の情報更新等) | 3.06 |
|      | 4 生徒の心身の健康に対する知識の定着に努める(生徒の心身の状況把握、健康生活の指導、健康診断と健康管理の指導、学校保健委員会での健康状況分析、性や病気に対する正しい知識の啓蒙活動、保健だよりによる保健指導、環境整備、美化委員による校内外の清掃活動、ゴミ分別推進)   | 3.19 |

## (4)進路指導部

| 項目   | 観 点   | 評価平均 |
|------|---|------|
| 重点目標 | 1 多様な進路情報を提供し、選択肢を提示することで生徒の視野を広げ、主体的な進路選択を促す(「進路の手引き」の活用、年次ごとのキャリアガイダンス、「進路ガイダンス」「上級学校体験授業」を企画、進路意識の醸成、就職セミナー、「進路通信」の配信) | 3.13 |
|      | 2 生徒一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成する(基礎力・実力診断テスト等を活用した基礎力の定着、生徒の実態に合わせた講習の計画実施、高校生スキルアップや各大学主催の講座への参加を促すことによる校外活動の充実) | 3.16 |
|      | 3 生徒の自己肯定感を高め、社会への参画意識を促すために、年次・教科・分掌との連携をはかりながら進めていく(各年次の意思疎通と情報共有のため進路部内会議を開催、全教職員による面接等の指導を実施、「進路通信」、「進路の手引き」による情報提供)  | 3.10 |

## (5)総合学科推進部

| 項目   | 観 点  | 評価平均 |
|------|--|------|
| 重点目標 | 1 「キャリアナビ」を運用することで「産業社会と人間」、「あすなる学ⅠⅡ」と「キャリア意識の形成」との相乗効果を高め、生徒個人の学びの深化、キャリア意識の高揚を実現させる。(生徒が社会課題を主体的に発見し、地域社会とつながって積極的に行動できるよう『キャリアナビ』のコンテンツを活用) | 3.03 |
|      | 2 希薄化している地域のつながりを「社会課題」の中心に据え、その問題を自分事とらえ、改善策を主体的に考え、大学や地域と協働しながら行動する(「地域ねぶた」の維持存続、大学や地域の方から指導助言)  | 3.29 |
|      | 3 探究的な学びを促進する図書の実と、開架のデスク・イス等のレイアウト・備品の更新(図書管理ソフトの変更、自習スペースの設置、協働的学びの促進のためにデスク等の更新)  | 3.31 |

## (6)渉外部

| 項目   | 観 点   | 評価平均 |
|------|---|------|
| 重点目標 | 1 保護者の理解と協力のもと、PTA活動を活性化(研修・広報・健全育成の各委員会の役員会の設定、学校行事・研修・広報活動などへの保護者への参加の呼びかけ) | 3.40 |
|      | 2 各種予算の健全な配分に努め、支出規程の見直しも行う(各会費収入の予算配分の検討、見直し)                                | 3.45 |
|      | 3 生徒が活躍する120周年記念事業を運営する。(生徒が主体となって120周年記念事業の式典を実施できるよう、各担当部署と連携を図りながら運営。)     | 3.38 |

## (7)1年次

| 項目   | 観 点  | 評価平均 |
|------|--|------|
| 重点目標 | 1 家庭における基本的な生活習慣を確立することで、健康を維持し、遅刻・欠席をしない生徒を育成する。                                  | 3.07 |
|      | 2 学習環境を整えることで、落ち着いて勉学に取り組む姿勢を身に付けさせ、基礎学力の定着を図る。                                    | 3.10 |
|      | 3 校則や規則の意味を理解させた上で、遵守できるように指導する。相手の良いところに視点を据えるよう常に指導することで、お互いを尊重しあえる集団になれるよう支援する。 | 2.90 |
|      | 4 一人ひとりに適した系列選択及び進路志望の確立に向けてのサポートを行う。  | 3.04 |

## (8)2年次

| 項目   | 観 点   | 評価平均 |
|------|---|------|
| 重点目標 | 1 家庭における基本的な生活習慣を確立することで、健康を維持し、遅刻・欠席をしない生徒を育成する。 | 3.13 |
|      | 2 ロッカー内及び机の中の教材を整理整頓することで、教材学習環境を整える。             | 3.22 |
|      | 3 校則や規則の意味を理解させた上で、遵守できるように指導する。                  | 2.97 |
|      | 4 お互いを尊重することで、居心地のよい学級にする。                        | 3.17 |
|      | 5 一人ひとりに適した進路志望の確立に向けてのサポートを行う。                   | 3.21 |

## (9)3年次

| 項目   | 観 点  | 評価平均 |
|------|--|------|
| 重点目標 | 1 ICT教材も活用しながら自主的・計画的な学習への取り組みを奨励する。                           | 3.26 |
|      | 2 最高年次としての自覚を持ち、自己の役割に責任を持って取り組むとともに、相手や全体のことを考えて行動できる生徒を育成する。 | 3.00 |
|      | 3 進路目標の達成に向けた活動に早めに取り組ませ、必要な力を着実に身につけ発揮できるよう指導する。              | 3.24 |

## (10)事務部

| 項目   | 観 点  | 評価平均 |
|------|--|------|
| 重点目標 | 1 計画的な予算執行と法令遵守による適正執行（計画的・効率的な予算執行、主担・副担による相互牽制機能の確保等による適正な事務処理の推進、積極的に研修会等へ参加できる体制づくり） | 3.70 |
|      | 2 学校施設・設備の保全と整備（定期的な巡回点検、不具合の修繕・要望等への迅速な対応、空き教室の有効利用）                                    | 3.67 |
|      | 3 物品の適正な管理・取得（備品の現物確認と処分・更新の適切な管理、パソコン等機器の事故等防止のための注意喚起）                                 | 3.67 |
|      | 4 就学支援金及び奨学のための給付金事務の円滑な執行（保護者への周知、サポート）   | 3.74 |